

新規事業採択時評価結果（平成25年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業の概要

事業名	地域高規格道路 阿南安芸自動車道 一般国道493号 北川道路2-2工区	事業区分	一般国道	事業主体	高知県
起終点	自：高知県安芸郡北川村和田 至：高知県安芸郡北川村柏木	延長	4.0 km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道493号は、高知県高知市を起点とし高知県東洋町までを結ぶ全長約104kmの道路であるが、この大半は一般国道55号との重複区間であり、実質的には奈半利町、北川村、東洋町の3町村を連絡する一般国道55号のバイパス経路として機能している。</p> <p>北川道路は阿南安芸自動車道の一部として四国東南部の高速ネットワークを形成し、同地域への広域アクセス性を高めるとともに、来たる南海トラフ巨大地震などに備えて、津波被害が想定される国道55号を機能代替して、発災時においても道路交通を維持するなど、同地域の経済発展や安心の確保に大きく寄与することを目的として計画された道路である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>北川道路は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ巨大地震発生時の緊急輸送路の確保 ・現道の落石多発区間や異常気象時の事前通行規制区間を回避による通行止めの危険性を解消に資する道路である。 					
全体事業費	約98億円	計画交通量	約900台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見
関係市町村および整備促進期成同盟会、民間の協議会などから整備促進の要望がされている。

学識経験者等の第三者委員会の意見
高知県公共事業再評価委員会で審議の結果、災害時の広域的な救援・救助ルートの役割を担い、また地域にもたらされる経済効果や緊急医療活動の支援効果など多様な効果を評価できることから、新規事業化は妥当であると認められている。

事業採択の前提条件
便益が費用を上回っている
関係市町村から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行の環境が整っている

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.03	総費用：29億円 （事業費：28億円 維持管理費：0.58億円）	総便益：30億円 （走行時間短縮便益：14億円 走行費用減少便益：14億円 交通事故減少便益：2.8億円）	基準年 平成24年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.1 (交通量 -10%)	B/C=1.1 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=0.8 (事業費 +10%)	B/C=1.4 (事業費 -10%)		
	事業期間変動	B/C=1.1 (事業期間 +20%)	B/C=1.0 (事業期間 -20%)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—			
		事故対策	○	<p>・現道が狭隘で見通しが悪いことから高知県平均より高い死傷事故率となっているが、通過交通が現道から転換することで交通事故の減少が見込まれる。</p> <p>【死傷事故率】125.9件/億台キロ 死傷事故率比(県内平均比) 2.7倍 高知県平均：47.5件/億台キロ(H18～H21年の平均値)</p>		
		歩行空間	○	<p>・現道には歩道が設置されておらず安全な歩行空間が確保できていなかったが、当該道路の整備により自動車交通が転換され、集落内の現道利用による歩行空間の確保が可能となる。</p>		
	社会全体への影響	住民生活	○	<p>・第二次医療施設（高知あき総合病院）等へのアクセスが向上し、緊急車両による搬送等における安全性・定時性の向上が見込まれる。</p> <p>・狭隘で見通しの悪い急カーブ等区間の回避や整備を行うことで、通勤・通学などにおける走行性・安全性が向上し、若者などが地域集落への定住性が高まる。</p>		
		地域経済	○	<p>・中山間部で栽培されている柚などの特産品を降雨や現道の災害に左右されず、安定した搬送が可能となる。</p> <p>・計画道路周辺の観光施設（北川温泉、モネの庭等）への集客増が期待される。</p>		
		災害	◎	<p>・南海トラフ巨大地震発生時の緊急輸送道路の確保。</p> <p>・現道は防災ランクⅠ区間が存在するがバイパス整備により回避。</p> <p>・異常気象時における事前通行規制を解消。</p>		
環境		—				
	地域社会	○	<p>・高知県東部の中核都市の機能を担う安芸市と東洋町との結び付きが強化される。</p>			
事業実施環境	○	<p>・四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟、土佐はちきん連合、高知東部自動車道整備促進期成同盟会、一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会、国道493号線整備促進期成同盟会より積極的な要望活動がされている。</p> <p>・県財政見直しによる今後の整備を見込む大規模事業へ位置付け。</p>				

採択の理由

事業主体である高知県が実施した評価に基づけば、費用便益比が1.03と便益が費用を上回ることから事業採択の前提条件が確認できる。
また、南海トラフ巨大地震発生時の緊急輸送道路の確保、災害危険箇所や事前通行規制区間の回避による通行止めの危険性を解消するなどの効果が期待され、当該事業の整備の必要性・社会全体の効果は高いと判断される。
以上により、本事業は平成25年度新規事業化箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。